

I 選考方法の多様化

○ 面接試験

1. 面接の実施状況及び面接担当者の構成

面接試験は従来から広く実施されており、平成17年度教員採用選考試験では、全60都道府県・指定都市（以下「縣市」とする）において行われている。

各縣市とも、教員としてふさわしい資質や使命感、意欲、適格性を評価するため、面接の回数、時間、方法、面接担当者の構成等について様々に工夫を凝らしている。

【面接試験を実施】 60 縣市（前年度同数）

個人面接	60 縣市	全ての縣市
集団面接	57 縣市	石川県、和歌山県、沖縄県を除く全ての縣市

【面接担当者の構成】

下線は平成17年度選考試験において導入した縣市

面接担当者に民間人等 （教育委員会事務局や 校長・教頭以外の者） を起用している縣市	56 縣市 前年度 54 縣市	石川県、福井県、大阪府、大阪市を除く 全ての縣市 (※ <u>奈良県</u> 、 <u>愛媛県</u> 、 <u>横浜市</u>)
-----------------------------------------------------	-----------------------	------------------------------------------------------------------------------

【多面的な面接試験実施の具体例】

民間企業等人事担当者、企業経営者等を起用した具体例

- 広い視野から多面的な人物評価を行うため、2次試験の模擬授業で評価委員として起用し、参観後の質疑を通して、教員としての適性を評価してもらっている。
- 高等学校の2次試験の集団討論で起用し、採用時に求めている教員像である「社会人として優れた識見を有する教員」の観点から、討論場面における発言や態度を通じてうかがえる積極性、協調性、堅実性、論理性、表現力、態度を評価してもらっている。
- 面接担当者は3人1組編成とし、教育関係者には教育の専門性に関することを、民間企業人事担当者には受験者の人物像や社会性を判断してもらっている。民間企業人事担当者の視点で、受験者の人物・識見を見る適切な問題を質問してもらい、応対する話の内容、話し振り、表情から総合的に評価してもらっている。面接終了後、教育関係面接委員と民間面接委員が評価した結果を出し合い、互いの評価について意見交換し、人物評価がより適切になるようにしている。
- 民間の人事担当者等の立場から、人物の多面的かつ客観的な評価を行い、教員としての適性、一般的社会人としての資質を適切に見極める。面接担当者は、県教育委員会、現役校長と民間人の3人1組で行う。
- 教育関係者とは違った社会観や期待する教員像等、民間の人事担当者等の視点から人物評価を行うことで、より多面的な人物評価を可能とするため、2次試験の面接で起用し、受験者に対して、教員に求められる資質や将来性等に係る質問を行い、評価してもらうことで、学校組織の活性化に寄与する面接を行ってもらう。
- 民間の人事担当者等の視点から、社会人としての自覚・姿勢等や生徒・保護者等との人間関係づくり、及び生徒に対する情熱・理念等を把握する質問をもらい、教員として求められる資質・能力等を適切に評価・判断している。
- 多角的できめ細かい人物評価を行い、教員として優秀な人材を確保するため、集団討論の評価担当者として起用し、教育関係者以外の立場から、教員として望ましい資質、社会性、人間性、柔軟な思考力等を持っているか、評価してもらっている。

スクールカウンセラーを起用した具体例

- 学校教育の現状、教職員や生徒等を理解している立場から、生徒指導等に関する質問を中心に行ってもらい、受験者の人物像や社会性を判断してもらうことで、教員としての資質、能力、対応力を把握している。
- 生徒や教職員のカウンセリングにあたり、学校の状況を把握している立場から、中学校及び養護教諭の個人面接で起用し、受験者のカウンセリングマインドや対人関係をとり結ぶ力を評価している。
- 今日の教育課題に応えるため、知識の量にとらわれず、人間性豊かな人材を採用するため、児童生徒のカウンセリングを行っている立場から「人物重視」の面接を行ってもらっている。

臨床心理士を起用した具体例

- 養護教諭の個人面接で起用し、専門的観点から児童・生徒の心のケア等に関する質問を行ってもらっている。
- 中学校における指導の困難さを鑑み、中学校教員の2次試験の集団討議で起用（3人1組編成のうちの1名）し、50分間の討議の中で受験者のコミュニケーション能力、適性等を評価してもらっている。
- 2次試験の個人面接において起用し、教員としての資質、心身の適格性を判断するとともに、性格検査結果を活用し、適性を判定してもらっている。

保護者（PTA役員）を起用した具体例

- 保護者との信頼関係づくり、家庭問題への対応等の視点で子どもを任せられる人材を把握してもらっている。
- 保護者の視点で教員としての意欲や情熱、指導力を適切に見極めるため、PTA活動や学校と地域との連携に関する質問等を行ってもらっている。
- 保護者が求める教員像の視点から判断してもらうことで、より深く、また多面的に人物を評価している。
- 3人1組編成で行う1次試験の面接において、保護者の視点から、教員としての信頼性、教育への情熱等を見極めてもらっている。
- 面接担当者は4人1組編成（内1人はPTA役員等）で、PTA役員等には、子どもを大切にす熱意ある人物か、保護者や地域の方とコミュニケーションがとれるか等を評価してもらっている。
- 1次試験の集団討論の面接担当者として保護者（PTA役員）を起用し、保護者の視点で教員としての意欲や情熱を、話し振りや内容から総合的に評価してもらっている。
- より一層幅広い人物評価を行うため、保護者の視点から、受験者の意欲や情熱、子どもに対する愛情の深さ等、教員としての資質を判断してもらっている。

その他の具体例

- 面接担当者3人の中に人権擁護委員を含め、場面指導を取り入れながら、教員としての適性・資質・人間性を評価してもらっている。

【実施状況】

○＝面接担当者が校長、教育委員会事務局等 ●＝面接担当者に民間人等を含む。

下線は、民間人の面接担当者のうち17年度採用選考試験において起用された者

(注) 「特・特殊」は盲・聾・養護学校を、「養・養教」は養護教諭を指す。

県市名	1次		2次		面接担当者の構成	民間人等起用年度
	個	集	個	集		
1北海道			○	●	2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者	10年度
2青森県		●	○		1次集：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 企業等経営者、臨床心理士、スクールカウンセラー 2次個：校長、教育委員会事務局	10年度
3岩手県		○	●	●	1次集：校長、教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局、人権専門委員、 <u>家庭裁判所調停員</u> 2次集：教育委員会事務局、民間企業人事担当者、臨床心理士	11年度
4宮城県		○	●		1次集：校長、教頭 2次個：校長、教頭、教育委員会事務局、民間企業人事担当者	10年度
5秋田県		○	●		1次集：校長、教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局、外国人大学教員(英語のみ)	10年度
6山形県		○	●	●	1次集：校長、教育委員会事務局 2次個/集：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 企業等経営者	9年度
7福島県	○	○	●	○	1次個：校長、教育委員会事務局【40～44歳教職経験者のみ実施】 1次集：教頭、教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、 <u>民間企業人事担当者</u> 2次集：校長、教育委員会事務局	10年度
8茨城県		○	●	○	1次集：校長、教頭、教育委員会事務局【特殊のみ実施】 2次個：教育委員会事務局、民間企業人事担当者 2次集：教育委員会事務局	10年度
9栃木県		○	●	●	1次集：教育委員会事務局 2次個/集：教育委員会事務局、民間企業人事担当者	12年度
10群馬県		○	○	●	1次集/2次個：教育委員会事務局 2次集：市町村教育長、教育委員(教職経験者を除く)、 教育委員会事務局、民間企業人事担当者(高のみ)、 スクールカウンセラー	11年度
11埼玉県		○	○	●	1次集：教頭、管理職候補教諭(高のみ) 2次個：校長、教頭(高のみ) 2次集：校長、教頭(高のみ)、教育委員会事務局、企業等経営者、 保護者	12年度
12千葉県		○	●	● 養特	1次集：教頭、教育委員会事務局 2次個/集：校長、教育委員会事務局、 民間企業人事担当者(一部教科・養教・特殊のみ)	10年度
13東京都			○	●	2次個：校長、教頭 2次集：教育委員会事務局、一般行政職員、民間企業人事担当者	10年度
14神奈川県			●	●	2次個/集：校長、教育委員会事務局、臨床心理士(養教のみ)、 保護者(P T A役員)	9年度
15新潟県	○		●	●	1次個：校長、教育委員会事務局 2次個/集：教育委員会事務局、民間企業人事担当者	11年度

県市名	1次		2次		面接担当者の構成	民間人等 起用年度
	個	集	個	集		
16富山県	○		○	●	1次個/2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、臨床心理士	10年度
17石川県	○				1次個：教育委員会事務局	14年度
18福井県			○	○	2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：教育委員(教職経験者を除く)、校長、教育委員会事務局	10年度
19山梨県			●	○	2次個：教育委員会事務局、スクールカウンセラー 2次集：教育委員会事務局	12年度
20長野県		○	●		1次集：校長、教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、スクールカウンセラー(高のみ)	13年度
21岐阜県		○	●	○	1次集：校長、教頭 2次個：校長、教育委員会事務局(小・中のみ)、一般行政職員(高・特殊のみ)、民間企業人事担当者、臨床心理士(小・中のみ) 2次集：校長(高・特殊のみ)、教育委員会事務局、一般行政職員	10年度
22静岡県	○		● 高	● 高以外	1次個：校長、教頭、教育委員会事務局、中堅教員(小・中・養教のみ) 2次個：校長、教頭(小・中・養教のみ)、教育委員会事務局(高以外のみ)、民間企業人事担当者(高のみ) 2次集：校長(小・中・養教のみ)、教育委員会事務局(高・特殊のみ)、民間企業人事担当者(高以外のみ)、臨床心理士(小・中・養教のみ)、保護者(小・中・養教のみ)、福祉施設長(特殊のみ)、中堅教員(小・中・養教のみ)	14年度
23愛知県		○	○	● 中	1次集：校長(高・特殊・県立養教以外のみ)、教頭、学年主任(高・特殊・県立養教のみ) 2次個：市町村教育長(小・中のみ)、教育委員(小・中のみ)、校長(県立学校のみ) 2次集：校長(小・中のみ)、教頭(高・特殊・県立養教のみ)、臨床心理士(中のみ)	11年度
24三重県		○	● 高	● 高	1次集：校長、教頭、教育委員会事務局 2次個/集：市町村教育長(小・中・養教のみ)、校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者(高のみ)	11年度
25滋賀県		●	●		1次集：校長、民間企業人事担当者 2次個：教育委員会事務局、臨床心理士	10年度
26京都府	○	○	●	○	1次個：教育委員会事務局【小学校のみ実施】 1次集：校長、教頭、教育委員会事務局【小学校以外のみ実施】 2次個：校長、教頭、教育委員会事務局、スクールカウンセラー 2次集：校長、教頭、教育委員会事務局	9年度
27大阪府		○	○	○	1次集：教育委員会事務局 2次個/集：校長、教育委員会事務局	—
28兵庫県		○	●		1次集：市町村教育長(中/英語のみ)、校長、教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者(高/一部教科のみ)、スクールカウンセラー(小・中のみ)	11年度

県市名	1次		2次		面接担当者の構成	民間人等 起用年度
	個	集	個	集		
29奈良県	○	○	●		1次個：校長 1次集：教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>企業等経営者</u>	17年度
30和歌山県	○		●		1次個：市町村教育長、校長、教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>企業等経営者</u> 、 <u>保護者</u> 、 <u>弁護士</u> 、 <u>医師</u> 、 <u>住職</u>	10年度
31鳥取県	○		●	● 高	1次集：教頭、教育委員会事務局 2次個：教育委員(教職経験ない者も含む)(高のみ)、校長(高のみ)、 <u>教育委員会事務局</u> 、 <u>民間企業人事担当者</u> (高のみ)、 <u>企業等経営者</u> (高のみ)、 <u>保護者</u> (高のみ)、 <u>教育関係審議会委員</u> (高のみ) 2次集： <u>教育委員(教職経験ない者も含む)</u> 、 <u>校長</u> (高のみ)、 <u>教育委員会事務局</u> 、 <u>民間企業人事担当者</u> (高以外のみ)、 <u>企業等経営者</u> (高以外のみ)、 <u>保護者</u> (高のみ)、 <u>教育関係審議会委員</u> (高のみ)	9年度
32島根県	○		●	●	1次集：教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、 <u>企業等経営者</u> 、 <u>保護者</u> 2次集：教育委員会事務局、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>企業等経営者</u> ※ 3次個：教育委員会事務局	9年度
33岡山県	○	○	●		1次集：校長、教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局 2次集：校長、教育委員会事務局、 <u>一般行政職員</u> 、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>保護者</u>	10年度
34広島県			●	○	2次個：校長、教育委員会事務局、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>企業等経営者</u> 2次集：校長、教育委員会事務局	9年度
35山口県	○	○	●		1次個/2次個：校長、教頭、教育委員会事務局 2次集：教育委員(教職経験者を除く)、校長、教頭、 <u>教育委員会事務局</u> 、 <u>一般行政職員</u> 、 <u>スクールカウンセラー</u> 、 <u>保護者</u>	10年度
36徳島県			●	●	1次集：教育委員会事務局、 <u>一般行政職員</u> 、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>企業等経営者</u> 、 <u>臨床心理士</u> 、 <u>スクールカウンセラー</u> 、 <u>保護者</u> 、 <u>弁護士</u> 、 <u>医師</u> 、 <u>団体役員</u> 2次個： <u>教育委員(教職経験ない者も含む)</u> 、 <u>教育委員会事務局</u> 、 <u>一般行政職員</u> 、 <u>民間企業人事担当者</u>	10年度
37香川県	○		●		1次集：校長、教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>校長OB</u>	9年度
38愛媛県	○		●		1次集：教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局、 <u>保護者</u> (PTA役員)、 <u>学校評議員</u>	17年度
39高知県	●	●	●		1次個/集：教育委員会事務局、 <u>一般行政職員</u> 、 <u>保護者</u> 2次個：校長、教育委員会事務局、 <u>一般行政職員</u> 、 <u>民間企業人事担当者</u> 、 <u>企業等経営者</u>	9年度

県市名	1次		2次		面接担当者の構成	民間人等 起用年度
	個	集	個	集		
40福岡県	○	○	●		1次個：校長(高のみ)、教育委員会事務局 【1次試験の一部免除者のみ実施】 1次集：校長(高のみ)、教育委員会事務局 2次個：校長(高のみ)、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 ALT(英語のみ)	9年度
41佐賀県			●	○	2次個：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 保護者(P T A役員) 2次集：教育委員会事務局	10年度
42長崎県		●	●		1次集：校長、教頭、教育委員会事務局、保護者 2次個：教育委員会事務局、民間企業人事担当者	10年度
43熊本県		●	○		1次集：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者 2次個：校長、教頭、教育委員会事務局	10年度
44大分県		●	●		1次集：校長、民間企業人事担当者、企業等経営者 2次個：教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 <u>企業等経営者</u> 、 スクールカウンセラー	9年度
45宮崎県	○		●	●	1次集：教育委員、校長、教育委員会事務局 2次個：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 <u>保護者</u> 2次集：校長、教育委員会事務局、 <u>保護者</u>	10年度
46鹿児島県	○		●	○	1次集：市町村教育長、校長、教育委員会事務局、校長OB 2次個：市町村教育長、教育委員(教職経験ない者も含む)、校長、 教育委員会事務局、民間企業人事担当者、保護者、校長OB 2次集：教育委員(教職経験者を除く)、校長、校長OB【養教のみ実施】	12年度
47沖縄県			●		2次個：校長、教頭、教育委員会事務局、一般行政職員、 民間企業人事担当者、企業等経営者、臨床心理士、 スクールカウンセラー、保護者	9年度
48札幌市			○	●	2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：校長、教育委員会事務局、 <u>臨床心理士</u> 、保護者	10年度
49仙台市	○		●		【宮城県と共同実施】 1次集：校長、教頭 2次個：校長、教頭、教育委員会事務局、民間企業人事担当者	10年度
50さいたま市	○	○		●	1次集：教頭、管理職候補教諭 2次個：校長 2次集：教育委員(教職経験者のみ)、保護者	16年度 (指定都市 移行による)
51千葉市	○		●	● 養特	【千葉県と共同実施】 1次集：教頭、教育委員会事務局 2次個/集：校長、教育委員会事務局、 民間企業人事担当者(一部教科・養教・特殊のみ)	10年度
52川崎市	○	○	●	●	1次個：校長【筆記試験免除者のみ】 1次集：校長、教頭、教育委員会事務局【筆記試験免除者を除く】 2次個： <u>教育委員(教職経験ない者も含む)</u> 、校長、 教育委員会事務局、保護者(P T A代表) 2次集：教育委員(教職経験ない者も含む)、校長、 教育委員会事務局、臨床心理士、保護者(P T A代表)	15年度

県市名	1次		2次		面接担当者の構成	民間人等起用年度
	個	集	個	集		
53横浜市		○	○	●	1次集：教頭 2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：校長、教育委員会事務局、保護者	17年度
54名古屋市		○	○	●	1次集：校長 2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：校長、民間企業人事担当者	10年度
55京都市	○			●	1次個：教育委員会事務局 2次集：教育委員会事務局、民間企業人事担当者、保護者	10年度
56大阪市		○	○	○	1次集：教育委員会事務局 2次個/集：校長、教育委員会事務局	—
57神戸市		○	●		1次集：校長、教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局、民間企業人事担当者、企業等経営者、 スクールカウンセラー、保護者(P T A経験者)	13年度
58広島市			●	○	【広島県と共同実施】 2次個：校長、教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 企業等経営者 2次集：校長、教育委員会事務局	9年度
59北九州市	○	○	●	○	1次個/集：教育委員会事務局 2次個：教育委員会事務局、企業等経営者 2次集：教育委員会事務局	13年度
60福岡市	○		○	●	1次個/2次個：校長、教育委員会事務局 2次集：教育委員会事務局、民間企業人事担当者、 精神科医師	10年度

2. 集団討論の実施

平成17年度選考試験で、集団面接において集団討論を実施しているのは48県市である。

集団討論の実施	48県市 前年度 51県市	<p>【1次面接で実施】</p> <p>青森県、岩手県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、長野県、滋賀県、兵庫県、奈良県、鳥取県、岡山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、名古屋市、神戸市</p> <p>【2次面接で実施】（※印は、1次面接でも実施している県）</p> <p>北海道、※岩手県、※山形県、福島県、※茨城県、※栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、広島県、山口県、佐賀県、※宮崎県、札幌市、千葉市、川崎市、京都市、大阪市、広島市、福岡市</p>
---------	---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○ 模擬授業及び場面指導等の導入

模擬授業や場面指導等は、実践的指導力を観察できる試験方法として近年その実施が増加しているところである。模擬授業とは、例えば、面接官を児童生徒に見立て授業や学級活動を数分程度行わせるといった試験である。また場面指導では、生徒指導等の場面を設定し受験者に教員役として対応させるといった内容が行われている。

【模擬授業】 44 県市 (前年度 43 県市)

下線は 17 年度採用選考試験において導入した県市

第 1 次試験	3 県 前年度 2 県	福島県(一部試験免除対象 40 歳以上 45 歳未満の教職経験者)、新潟県、 <u>石川県</u>
第 2 次試験	42 県市 前年度 41 県市	青森県、岩手県(高・盲学校等)、秋田県、山形県、 <u>福島県(小・中・高・盲学校等)</u> 、茨城県(高校)、埼玉県(小・中学校)、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、山梨県、長野県、岐阜県(小・中学校・養護教諭)、滋賀県(小・中・高・盲学校等)、京都府、兵庫県(小・中・高・盲学校等)、奈良県、和歌山県(中・高校の一部教科)、鳥取県(小・中・盲学校等・養護教諭)、島根県(小・中・高・盲学校等)、岡山県(小・中・高校)、広島県(小・中・高・盲学校等)、徳島県(小・中・高・盲学校等)、香川県、高知県(小・中・高校)、福岡県(小・中(一部教科除く)・高校)、佐賀県(小・中・高校)、長崎県(小・中・高・盲学校等)、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県(小・中・高校)、沖縄県、さいたま市、千葉市、川崎市(小・中学校)、横浜市、京都市、広島市(小・中・高・盲学校等)、北九州市、福岡市
第 3 次試験	1 県	<u>島根県</u>

【場面指導】 28 県市 (前年度 22 県市)

第 1 次試験	2 県 前年度 3 県	<u>岩手県(小・中学校・養護教諭)</u> 、岐阜県(小・中・養護教諭)
第 2 次試験	26 県市 前年度 20 県市	岩手県(小・中学校・養護教諭)、宮城県、 <u>山形県、福島県(養護教諭)</u> 、栃木県(小・中学校)、群馬県(小・中学校)、埼玉県(小・中学校)、千葉県、新潟県、長野県、静岡県(小・中・盲学校等・養護教諭)、京都府、兵庫県、 <u>和歌山県(盲学校等・養護教諭)</u> 、岡山県、山口県(小学校・盲学校(小学部))、 <u>愛媛県、高知県(盲学校等・養護教諭)</u> 、熊本県、鹿児島県(小・中・高校)、仙台市、千葉市、川崎市、横浜市、名古屋市、神戸市
第 3 次試験	1 県	<u>島根県</u>

【指導案作成】 17 県市 (前年度同数)

第 1 次試験	5 県 前年度 3 県	青森県(中・高校の一部教科)、福島県(一部試験免除対象 40 歳以上 45 歳未満の教職経験者)、 <u>広島県(小・中・高・盲学校等)</u> 、横浜市(教職経験特別選考受験者)、 <u>広島市(小・中・高・盲学校等)</u>
第 2 次試験	14 県市 前年度同数	栃木県(盲学校等)、埼玉県(中・高校の一部教科)、東京都、神奈川県、岐阜県(中学校)、京都府、鳥取県(高校)、広島県(小・中・高・盲学校等)、 <u>高知県(小・中・高校)</u> 、さいたま市(中学校)、京都市、広島市(小・中・高・盲学校等)、 <u>北九州市、福岡市</u>

【模擬授業や場面指導における工夫・改善の例】

- 朝のSHR（ショート・ホーム・ルーム）を想定し、5分程度の連絡・指示事項の課題を与えて、指導を行う。
- 模擬授業の中で板書を必ず取り入れたり、教具・教材等を準備し授業を行う。
- 各教科の中から指導内容を1つ抽選で選び、約5～7分の模擬授業を行う。
- あらかじめ示した3つのテーマのうち、当日指示する1つのテーマに基づいて模擬授業を行う。
- 模擬授業の30分前に与えられた課題で指導案を作成し、それに基づき10分間模擬授業を行う。
- 1単位時間の指導案を作成して持参し、その指導案に基づき10分間模擬授業を行う。
- 10分間の模擬授業（教科又は場面指導）の後に、25分間の集団面接を行う。
- 模擬授業の途中に、面接官が軽度のトラブル状況を演出し、それに対して指導を行う。
- 教育活動の中で起こり得る場面設定に基づき、他の受験者、試験官の前で模擬授業を行う。
- 児童生徒又は保護者への対応として、具体的な場面を提示し、面接官を児童生徒等に見立て指導を行う。

○ 実技試験の充実

1. 小学校

実践的指導力等を見極めるため、実技試験は従来から各県市で行われている。

小学校については、平成17年度選考試験において、水泳実技が56県市（前年度同数）、水泳以外の体育実技が54県市（前年度53県市）、音楽実技が53県市（前年度同数）とほとんどの県市で実施されている。

主な試験内容は、水泳以外の体育実技の場合、鉄棒、マット、跳び箱等の器械運動やボール運動、陸上運動等であり、音楽実技の場合はピアノ、オルガンの演奏や伴奏しながらの歌唱等である。

【水泳実技】 56県市（前年度同数） 下線は17年度採用選考試験において導入した県市

第1次試験	17県市 前年度同数	青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、石川県、福井県、山梨県、奈良県、鳥取県、香川県、愛媛県、長崎県、大分県、宮崎県、仙台市、神戸市
第2次試験	39県市 前年度同数	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、徳島県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、札幌市、さいたま市、千葉市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、広島市、北九州市、福岡市

【水泳以外の体育実技】 54県市（前年度53県市）

第1次試験	19県市 前年度同数	青森県、岩手県、秋田県、 <u>山形県</u> 、福島県、埼玉県、新潟県、福井県、山梨県、奈良県、鳥取県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、長崎県、さいたま市、京都市、神戸市
第2次試験	38県市 前年度 37県市	北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、 <u>宮崎県</u> 、鹿児島県、沖縄県、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、広島市、北九州市、福岡市

【音楽実技】 53県市（前年度同数）

第1次試験	10県市 前年度同数	青森県、秋田県、福島県、石川県、奈良県、鳥取県、山口県、徳島県、香川県、長崎県
第2次試験	43県市 前年度同数	北海道、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県、札幌市、仙台市、さいたま市、川崎市、横浜市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

2. 中学校・高等学校

中学校・高等学校については、主に英語や音楽、保健体育といった教科で実技試験が実施されている。

平成17年度選考試験において、英語（英会話）の実技試験は、中学校で60県市（前年度59県市）、高等学校で54県市（前年度55県市）が実施している。主な試験内容は、一般英会話やリスニング、インタビューテスト等が行なわれ、第1次試験と第2次試験の両方で実施する県市もある。

音楽の実技試験は、中学校で53県市（前年度55県市）、高等学校で34県市（前年度38県市）が実施し、主な内容はピアノ等の楽器演奏や伴奏しながらの歌唱となっている。

また、器具の操作を含めた実験観察等の理科の実技試験を実施している県市は、中学校で15県市（前年度12県市）、高等学校で11県（前年度7県）である。

【英語（英会話）の実技】

中学校：60県市（前年度59県市）

下線は17年度採用選考試験において導入した県市

第1次試験	30県市 前年度 29県市	青森県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、長野県、静岡県、 <u>奈良県</u> 、鳥取県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、京都市、神戸市、北九州市、福岡市
第2次試験	41県市 前年度同数	北海道、岩手県、宮城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

高等学校：54県市（前年度55県市）

第1次試験	26県市 前年度同数	青森県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、静岡県、鳥取県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、京都市、 <u>福岡市</u>
第2次試験	37県市 前年度 38県市	北海道、岩手県、宮城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、広島市、 <u>福岡市</u>

【英語の実技試験の工夫・改善例】

- 模擬授業を行う（ALT（アシスタント・ランゲージ・ティーチャー）との授業実演も含む）。
- オーラル・プレゼンテーションやディベートを行う。
- 3つの課題から1つを選択してスピーチを行う。
- 英語以外の志願者に対して、英会話による面接を行う。
- 英語志願者に対して、英会話による集団面接を行う。

【音楽の実技】

中学校：53 県市（前年度55 県市）

第1次試験	33 県市 前年度同数	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、山梨県、静岡県、大阪府、鳥取県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、 <u>沖縄県</u> 、 仙台市、名古屋市、大阪市、神戸市、北九州市、福岡市
第2次試験	21 県市 前年度 22 県市	北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、福井県、長野県、岐阜県、 <u>静岡県</u> 、愛知県、三重県、兵庫県、 <u>島根県</u> 、岡山県、広島県、 札幌市、さいたま市、千葉市、横浜市、 <u>京都市</u> 、広島市

高等学校：34 県市（前年度38 県市）

第1次試験	22 県市 前年度 27 県市	宮城県、秋田県、福島県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、 <u>山梨県</u> 、 長野県、静岡県、大阪府、鳥取県、山口県、徳島県、愛媛県、 <u>佐賀県</u> 、 熊本県、宮崎県、鹿児島県、 <u>沖縄県</u> 、仙台市、大阪市
第2次試験	12 県市 前年度 11 県市	北海道、千葉県、東京都、福井県、 <u>島根県</u> 、岡山県、 <u>広島県</u> 、 <u>高知県</u> 、 札幌市、千葉市、横浜市、 <u>広島市</u>

【理科の実技】

中学校：15 県市（前年度12 県市）

第1次試験	3 県 前年度同数	<u>石川県</u> 、鳥取県、愛媛県
第2次試験	12 県市 前年度 9 県市	<u>秋田県</u> 、埼玉県、岐阜県、兵庫県、 <u>和歌山県</u> 、島根県、岡山県、高知県、 福岡県、 <u>大分県</u> 、さいたま市、福岡市

高等学校：11 県（前年度7 県）

第1次試験	2 県 前年度同数	<u>石川県</u> 、鳥取県
第2次試験	9 県 前年度5 県	秋田県、兵庫県、 <u>奈良県</u> 、 <u>和歌山県</u> 、島根県、岡山県、高知県、 <u>福岡県</u> 、 <u>大分県</u>

3. パソコンの実技試験

平成17年度選考試験において、技術、工業、商業等特定の教科の受験者又は全ての受験者に、文書作成や表計算といったパソコンの基本操作等を行わせる実技試験を実施しているのは、次の25区市（前年度32区市）である。

【パソコンの実技】 25区市（前年度32区市）

下線は17年度採用選考試験において導入した区市

第1次試験	8区市 前年度 13区市	山形県、茨城県、群馬県、石川県、鳥取県、徳島県、愛媛県、名古屋市
第2次試験	19区市 前年度 23区市	秋田県、栃木県、群馬県、埼玉県、岐阜県、兵庫県、 <u>和歌山県</u> 、鳥取県、 <u>島根県</u> 、 <u>広島県</u> 、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県、川崎市、横浜市、 <u>広島市</u> 、北九州市、福岡市

【パソコンの実技試験における工夫・改善の例】

全受験者対象の試験

- 文書作成(日本語入力)、表計算、編集、印刷、インターネット等一連の基本操作を行う。
- 標準アプリケーションを用いて、指定する課題を作成する。
- Power Pointによる、図の挿入や図形線画を使ってスライドを作成する。

特定教科（中学校技術、高等学校商業・工業等）の受験者対象の試験

- Excelを用いたデータ処理（表計算、グラフ処理、データベース）を行う。
- Web ページを作成するため、簡単なプログラム（HTML 言語を使用）を作成する。
- ウイルス対策。
- 保護者あてのお知らせ文書を作成する。（技術・家庭科）
- 商業に関するデータ処理を行う。（商業）
- インターネットからのダウンロードやLAN 接続とフォルダの共有設定。（技術）
- ネットワーク設定。（情報）

【パソコンの実技試験以外にITに関する試験問題を取り入れている例】

- 秋田県** 第1次試験の筆記試験（専門教科）で、ソフトウェアを用いた学習活動の在り方、情報モラルについての指導内容、用語や仕組みを問う問題を出題。
- 千葉県** 第1次試験の筆記試験（一般教養）で、ITに関する問題を出題。
第2次試験の面接試験で、ITに関する問題を質問項目に取入れ。
- 大阪府** 第1次試験の筆記試験（教職教養・教科専門）で、情報に関する問題を出題。
- 兵庫県** 第1次試験の筆記試験（一般教養）で、情報機器の利用についての問題を出題。
- 奈良県** 第2次試験の筆記試験（教職専門）で、ITに関する問題を出題。
- 愛媛県** 第1次試験の筆記試験（一般教養・教職専門）で、「情報教育に関する手引」（平成14年6月文部科学省）に関連した問題を出題。
- 福岡県** 第1次試験の筆記試験（教職教養）で、基本的な用語に関する問題を出題。
第2次試験の筆記試験（専門教科(記述)）で、基本的な用語及び仕組みに関する問題を出題。（中学校・技術家庭）
- 長崎県** 第1次試験の筆記試験（教職・一般教養）で、10問中1問をITに関する問題として出題。

4. その他の実技試験

平成17年度選考試験において見られた興味深い実技試験として、以下のような例がある。

【小学校】

- 秋田県、群馬県、三重県、福岡県、沖縄県、北九州市
簡単な英会話や自己紹介、リスニング
- 富山県 指定された材料、道具を使用して課題作品制作
- 石川県 絵本の読み聞かせ
- 滋賀県 特別活動に係る実技（遊具等の使用教材を選択）
- 鳥取県 書写（硬筆）

【中学校・高等学校】

- 岐阜県 古典作品の朗読（国語）、看護実習（看護）、介護実習（福祉）